



**パン君が一日警察署長！
秋の全国交通安全運動を盛り上げる**



「任せて！」とばかりに握手を受け「パン君」



テレビ番組でおなじみの阿蘇カドリー・ドミノンの「パン君」が交通安全運動期間中の9月24日、一日阿蘇警察署長に委嘱され、交通安全を呼びかけました。

さすがは「パン君」、役目を知ってか交通安全横断旗を振ったり、白パイに乗ったりと天才チンパンジーぶりを発揮し、初の大役を見事にこなしました。

《250人によるハンドプレートキャンペーン》
阿蘇地区安全運転管理者等協議会（渡邊富廣会長）の皆さんが、カドリー・ドミノン前の国道57号沿いでハンドプレートを掲げ、運手中のドライバーに交通安全を呼びかけました。



**正しい食生活のあり方を学ぶ
～ヘルスサポーター21事業～**



波野中学校3年生は、「総合的な学習の時間」に年間を通して様々な分野を学習しており、9月13日は市が行うヘルスサポーター21事業の一環として「波野の食を考える」をテーマに食生活について学びました。

授業では、食生活改善推進員7名がヘルスサポーターとして参加し、「危険な食べ物」や「朝食」などについて生徒が事前に学習した内容を発表し、活発な意見や質問が交わされました。

最後は、推進員による「食育劇」が行われ、生徒たちは楽しみながら食に関する知識を深めました。

美しいショウブの川を目指し



川の水をせき止めての作業の様子。
長さ130m幅20mの川に
1,200株が植えられました。

跡ヶ瀬・狩尾を流れる山内川で、ショウブの植え付け作業が、9月18日地元やボランティアの人たちにより行われました。植えられたショウブは、近くの休耕田で育てられていたショウブで、「跡ヶ瀬ショウブ園」としてここ数年人々の目を楽ませてきました。今回、移植に耐えるまで成長したショウブがいよいよ川へ移植されたもので、地元のかねてからの夢であった大規模なショウブの名所へと大きく近づきました。

山内川は、阿蘇五岳を望むのどかな田園風景の中にあり、ショウブの河川公園が完成すると写真愛好家にはたまらないスポットとなりそうです。